

腋下用リユーザブル体温プローブ TypeV

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」

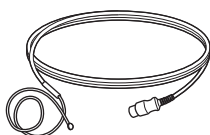
- ・MRI検査を行う際は、本プローブを含む生体情報モニタを検査室に持ち込まないこと。〔MRI装置への吸着や、火傷等の恐れがあるため〕

【形状・構造及び原理等】

(1) 形状



成人用
HXA-VTEMP-RUSKA



小児・新生児用
HXA-VTEMP-RUSKP

【使用目的又は効果】

本体温度プローブは、腋下用の再使用可能な体温プローブです。患者の体温を連続的に測定できるよう設計されています。

【使用方法等】

＜使用方法＞

- (1) 本プローブは、腋下定度を推奨します。それ以外の場合には、プローブを腕など他の体表面上へ装着してください。接着性のプラスタを使用して腋窩または他の体表面上へプローブを装着し、プローブの金属側が患者と接触するようにしてください。
- (2) プローブを接続する生体情報モニタの取扱説明書に従い接続してください。
- (3) 本プローブは再使用可能です。推奨された洗浄剤／消毒剤で、洗浄・消毒してください。水蒸気で消毒しないでください。

【組み合わせて使用する医療機器】

販売名	医療機器承認番号
生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ	22600BZX00092000
生体情報モニタ Accumil V6000シリーズ	22600BZX00264000
生体情報モニタ Accumil V5000シリーズ	22600BZX00097000

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・ケーブル及びプローブ類の配線に注意してください。〔患者に絡みついたり、締め付けたりする危険性があります〕

＜相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関する事）＞

1. 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）	検査室に本プローブや生体情報モニタを持ち込まないでください。 MRI検査を行うときは、本プローブを患者から取り外してください。	誘導起電力により局所的な発熱で火傷の恐れがあります。また、磁気により本プローブや生体情報モニタが吸着される恐れがあります。

2. 併用注意（併用に注意すること）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
電気手術器（電気メス）などの高周波発生源を有する機器（MRI装置を除く）	機器と本プローブを同時に使用する場合、プローブに接続するケーブルのねじれやケーブルが患者に直接触れないようにしてください。 また、機器とモジュールを接続している生体情報モニタとを確実に絶縁してください。	誤った測定値表示、プローブ損傷の恐れがあります。また、高周波電流により、意図しない部位に組織熱傷が生じる恐れがあります。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法については、接続する生体情報モニタの取扱説明書を参照してください。

【保守・点検に係る事項】

洗浄

- (1) 水で湿らせた綿布または柔らかい布で洗浄します。
- (2) 洗浄後、柔らかい布で水分を拭き取り、空気乾燥させてください。

消毒

推奨する消毒剤：エタノール70%、イソプロパノール70%

- (1) 上記の方法で洗浄後、推奨された消毒剤を使用し、綿布または柔らかい布でおこなってください。
- (2) 消毒後は必ず水で湿らせた柔らかい布で残留した消毒剤を拭き取り、空気乾燥させてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：フクダ電子株式会社

外国製造業者：Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics CO.,LTD. (中国)
シンセン マインドレー バイオメディカル
エレクトロニクスカンパニーリミテッド

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。



046-006200-00(2.0)

4L0115280